

■資材部会

期間：2007年11月19日～23日
事務局 信澤 幸男（記）

1 はじめに

今回の視察は、「ベトナム自動車産業の現状と今後の発展」を肌で感じるために実施した。

今回は、前ジェイ・バス(株)の社長であり、今回新入会となったTDF(株)の滝沢社長の紹介により日系企業として活躍しているいすゞベトナム社を中心にホーチミン市内の自動車関連工場等を視察した。

2 視察先

①いすゞベトナム社

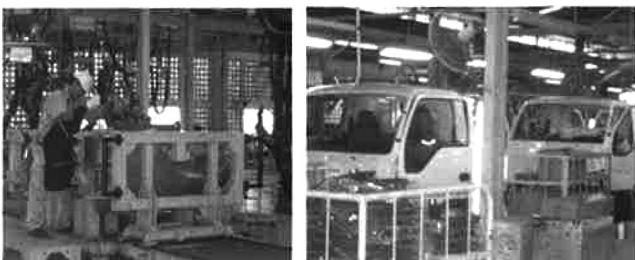
代表者の本多社長よりベトナムの歴史、経済状況から、日系企業としての苦勞等のレクチャーを受け、その後工場内を視察した。いすゞベトナム社では社会主義の国でありながら、これまで労働争議は行われたことがないという。

当工場概要

設立：1995年10月 資本金：1,500万USドル
出資比率：いすゞ35% 伊藤忠35% 現地30%
代表者：本多 実 従業員：283名
事業内容：中・小型商用車、Pickup、AUV（アジア
ン・ユーティリティ・ビークル）の輸入・組立・販売生産
販売実績 2005年：2,799台 2006年：2,621台



いすゞベトナム正門前にて



工場内の作業風景（左）とトラック製造ライン（右）

②タイトワン輸出加工区

ベトナムには、海外企業も含め企業誘致する工場団地とベトナムからの輸出を目的とした企業が集まり、ベトナム政府がその立地条件を活かして指定する輸出加工区がある。

今回はその輸出加工区の一つであるタントワン輸出加工区を訪問した。ここは、台湾企業が70%の資本を出資しているベトナム政府との合弁会社であり、ベトナムの経済事情について種々、意見を交換した。

③SAMCO社

SAMCO社はホーチミン市の市営会社であり、グループ全体で約1万人以上の従業員が働いている。今回は、バス、電車の製造を行っている工場を視察した。

この工場は、バスシャシ、バスボデー、電車、完成車の4つの工場建て屋で構成されている。現在、生産量の拡大に伴い新しい建て屋を増設中であった。

当工場概要

SAMCOグループ従業員：グループで10,000人以上
当工場概要：従業員：260名
面積：50,000m² 月産：100台（国産のバスの41%）



SAMCO社にて

3.視察結果概要

ベトナムの交通手段はバイクが主流で、大人1人に1台の割合でバイクを所有している。ベトナム人の年間所得はバイクの購入代金にほぼ等しいと言われる経済状況を考慮すると、その購買意欲は驚異的である。

自動車の普及はこれからであり、今後の市場経済の発展により進むものと思われるが、道路の整備や駐車場等のインフラの整備が立ち遅れていることに懸念もある。

ベトナムは日本と似ていて非常に勤勉で、まじめな国民性だと言われている。歴史的に非常に不幸な経験をしているが、それらに負けない強さをもっていることも今後の発展に期待を持たせるものである。

■参加メンバー

氏名	会社名
泉 龍彦	団長 クラリオン(株)
杉本 真	レシップ(株)
福西 紀雄	天龍工業(株)
滝沢 聡	TDF(株)
平本 康富	平本工業(株)
小澤 賢記	ゴールドキング(株)
久保 航一	(株)昭和
吉川 徳雄	(株)テンソー
中村 和彦	レシップ(株)
松岡 義久	クラリオン(株)
羽深 隆	(株)羽深製作所
信澤 幸男	(社)日本自動車車体工業会